

カラスと人間

六年二組

伊部

心和

この本の主人公は、ハツブトガラスです。  
私は、カラスは黒くて大きいので、こわいとい  
うイメージがありました。

初めに、カラスは、カラス科のカラスぞく  
という鳥の仲間です。世界中に40種ぐらいいる  
そうです。

そして、日本には、5種のカラスがいて、  
一年中日本でくらしているのは全身が真っ黒  
いハツブトガラスとハシボソガラスの、2種  
だそうです。

他にも、日本で冬を過ごすためにわたって  
くるカラスも3種いるそうです。

ハツブトガラスは、森林や都会に住んでいて  
毎年、巣を作っているそうです。

そして、巣を見られたくないのので、高い所  
に巣を作りかくすそうです。

元々、ハツブトガラスは、森林の奥に住んで  
いて都会には住んでいなかった。

森に住んでいる時は、木の実やくだもの、虫や、弱ったり死んだ動物などを食べていて、森をきれいにしてくれる存在だった。

でも、人間が家やビルなど自分達の住むために、森の木を切り、ハツブトガラスの住んでいる近くに住むようになりました。

今までは住んでいなかった人間がゴミとして捨てる食べ残しの生ゴミに気づいたハツブトガラスは、その生ゴミがごちそうだと気づき、人間の近くに住めば、大変な思いをしなくても簡単に食べ物が入ると気付いたようです。

森の中では、タカやフクロウなどの天敵がいたけど、街の中では、食べ物がいっぱいあって、巣を作る事もでき、子供を育てるのに、も、ハツブトガラスには、生活しやすい場所になつていった。

ゴミ袋をやぶり、ゴミを散らかすハツブトガラスかぎらいな人が多いけど、ハツブトガラスかゴミを散らかしてしまうのは、人間が

住みやすいように、森の木をたくさん切っ  
てしまいい、ハツブトガラスや動物の住むところ  
をうばってしまっ、た人間が悪いと思いました。  
人間も、ハツブトガラスも、他の動物も、  
生きていくためには、住むところも、食べ物  
も必要だと思えます。

地球は人間だけが住んでいるんじゃない  
ハツブトガラスみたいな動物や、森の中の木  
や花もいるという事を忘れてはいけないと知  
りました。

私は、体の大きいガラスがこわいけど、し  
ぜんの動物や植物などを大事にしようと思ひ  
ます。